※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１４

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「明解　歴史総合」　（帝国書院）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協同し、考える活動を行います。
・定期的にワークシートや課題を提出してもらいます。
・知識を得て理解する→課題を見つける→課題を解決する→課題解決の過程を振り返るという一連の過程を通して自分の考えを持ち、他者の意見を聞き、尊重するという力を身に着けます。

2　学習の到達目標

・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりしている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	1部 歴史の扉	1章　歴史と私たち	a:日本と世界の歴史のつながりを理解するとともに、諸資料を活用している。 b:スポーツと近代化、大衆化、グローバル化などの歴史との関連を考え、表現している。 c:日本とスポーツの歴史について、主体的に追究しようとしている。	・ワークシート ・年表 ・地図	・ワークシート ・発表	・発表
		2章　歴史の特質と資料	a:歴史が資料に基づいて記されていることを理解し、諸資料を活用している。 b:複数の資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 c:諸資料を活用し、8 月 15 日の「終戦」について、主体的に考え、追究しようとしている。	・ワークシート ・諸資料	・ワークシート ・討論、発表	・ワークシート ・討論、発表
	2部 近代化と私たち	1章 「近代化」への問い	a:近代化と私たちに関わる諸資料から，情報を読み取ったりまとめたりしている。 b:近代化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを表現している。 c:近代化と私たちに関わる諸資料を主体的に読み取り，近代化への問いを表現しようとしている。	・ワークシート ・年表・地図 ・諸資料	ワークシート，討論，発表	ワークシート，討論，発表
		2章　江戸時代の日本と結びつく世界 3 章　欧米で生まれる国民国家	a: 18 世紀のアジアや日本における経済と社会の状況を理解し，それらに関する諸資料を活用している。 b: 18 世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国と他国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，アジア諸国の経済活動や地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 18 世紀のアジアの経済・社会に関して，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・ワークシート ・小テスト	・ワークシート ・討論	・発表
		4章　産業革命による欧米とアジアの変化	a: 産業革命と交通・通信手段の革新，中国の開港と日本の開国などを基に，工業化と世界市場の形成を理解するとともに，それらに関する諸資料を活用している。 b: 産業革命の影響，中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国と他国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 工業化と世界市場の形成に関して，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	・討論，発表	・討論，発表

※令和４年度以降入学生用

		5章　日本における近代国家の形成 6章　帝国主義の影響と日本を含めた東アジアの変化	a: 18　世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向，日本の明治維新や憲法の制定を基に，立憲体制と国民国家の形成を理解するとともに，それらに関する諸資料を活用している。 b:国民国家の形成の背景や影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国と他国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，政治や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 国民国家と立憲体制に関して，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 a:列強の進出と植民地の形成，日清・日露戦争などを基に，列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解するとともに，それらに関する諸資料を活用している。 b: 帝国主義政策の背景，帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国と他国や地域の動向を比較し，相互に関連付けたりするなどして，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:列強の帝国主義政策とアジア・アフリカの変容に関して，よりよい社会の実現を視野を持って課題を主体的に追究しようとしている。	・ワークシート ・小テスト	・ワークシート ・討論	・発表
		7章 「近代化」を振り返り現代的な諸課題と結びつけて考えよう	a:社会インフラ建設をめぐる平等と格差という現代的諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解している。 b :日本と清の鉄道建設の比較，鉄道建設に対する清朝政府や中国民衆の反応，現代のアジア諸国のインフラ建設の光と影に着目して，鉄道建設と近代化について多面的・多角的に考察し，表現している。 c:鉄道建設と近代化のもたらす現代的な諸課題を主体的に追究しようとしている。	・ワークシート ・小テスト	・ワークシート ・討論	・発表

※令和４年度以降入学生用

後期	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち	1章 「国際秩序の変化や大衆化」への問い 2章 第一次世界大戦とその影響 3章 大衆社会の形成と社会運動	a ：国際秩序の変化や大衆化と私たちに関わる諸資料から，情報を読み取ったりまとめたりしている。 b ：国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを表現している。 c ：国際秩序の変化や大衆化と私たちに関わる諸資料を主体的に読み取り，国際秩序の変化や大衆化への問いを表現しようとしている。 a：総力戦となった第一次世界大戦の特質・展開や惨禍，大戦後の国際協調体制が構築された経緯やその展開の特徴，日本とアジア及び太平洋地域の関係を理解し，諸資料を活用している。 b： 第一次世界大戦の推移と大戦や社会主義革命が戦後の世界に与えた影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，関連付けたりするなどして，戦後の国際協調体制の特徴などを，多面的・多角的に考察し，表現している。 c： 第一次世界大戦と国際社会に関して，国際社会の一員として，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 a:大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解するとともに，それらに関する諸資料を活用している。 b:第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して，主題を設定し，日本と他国や地域の動向を比較したり，関連付けたりするなどして，戦後の社会について多面的・多角的に考察し，表現している。 c :大量消費社会の功罪，教育の重要性や世論形成におけるマスメディアの重要性を認識し，民主主義社会・資本主義社会の一員として，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・ワークシート ・小テスト	・ワークシート ・討論	・発表

※令和４年度以降入学生用

		4章　揺らぐ国際秩序と日本の行方 5章　第二次世界大戦とその影響	a:国際協調体制の動揺と崩壊，国際秩序の変容につながった政治制度の特性や国際情勢，第二次世界大戦の展開を理解するとともに，それらに関する諸資料を活用している。 b :経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，主題を設定し，各国の世界恐慌への対応，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c :世界恐慌への各国の対応の意義やその限界に関して，国際社会の一員として，よりよい社会の実現を視野に，諸課題との関わりを主体的に追究しようとしている。 a :第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解するとともに，それらに関する諸資料を活用している。 b :アジア太平洋戦争の推移と第二次世界大戦が世界に与えた影響，大戦後の国際秩序の形成の影響，福祉国家の成立などに着目して，主題を設定し，日本と他国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，多面的・多角的に考察し，表現している。 c :平和で民主的な国際社会の実現に努める意義に関して，国際社会の一員として，課題を主体的に追究しようとしている。	・ワークシート ・小テスト	・ワークシート ・討論	・発表
		6章 「国際秩序の変化や大衆化」を振り返り現代的な諸課題と結びつけて考えよう	a:ナショナリズムに基づく国家の統合や分化といった現代的諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解している。 b:ナショナリズムと国際秩序の変化や大衆化について多面的・多角的に考察し，表現している。 c:ナショナリズムと国際秩序の変化や大衆化のもたらす現代的な諸課題を主体的に追究しようとしている。	・ワークシート ・小テスト	・ワークシート ・討論	・発表

※令和４年度以降入学生用

	４部　グローバル化と私たち	1章 「グローバル化」への問い 2 章　冷戦で揺れる世界と日本	a :グローバル化と私たちに関わる諸資料から，情報を読み取ったりまとめたりしている。 b ：グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを表現している。 c ：グローバル化と私たちに関わる諸資料を主体的に読み取り，グローバル化への問いを表現しようとしている。 a ： 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向など国際政治の変容を理解するとともに，それらに関する諸資料を活用している。 b ： 地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本と他国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして,多面的・多角的に考察し，表現している。 c ： 地域紛争や冷戦の影響，国際政治の動向などに関して，グローバル化する国際社会の一員として，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 a ：世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解するとともに，それらに関する諸資料を活用している。 b ： 冷戦が各国経済に及ぼした影響，地域連携の背景と影響，日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本と他国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，多面的・多角的に考察し，表現している。 c ： 世界経済の動向や，地域連携，日本の高度経済成長の背景と影響などに関して，グローバル化する国際社会の一員として，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・ワークシート ・小テスト	・ワークシート ・討論	・発表

※令和４年度以降入学生用

		3章　多極化する世界 4章　グローバル化のなかの世界と日本	a :石油危機，アジアの諸地域の経済発展，冷戦の終結などを基に，市場経済の変容と課題を理解するとともに，それらに関する諸資料を活用している。 b ： アジアの諸地域の経済発展の背景，資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響，冷戦の変容と終結の背景などに着目して，主題を設定し，日本と他国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして,多面的･多角的に考察し，表現している。 c ： アジアの諸地域の経済発展，資源・エネルギーと地球環境問題，冷戦の終結が世界経済に及ぼした影響などに関して，グローバル化する国際社会の一員として，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 a :民主化の進展，地域統合の拡大と変容，市場開放と経済の自由化，情報通信技術の発展，地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に，冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解するとともに，それらに関する諸資料を活用している。 b ： 民主化や地域統合の背景と影響，経済の自由化や技術革新の影響，地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c ：　民主化や地域統合の動き，経済の自由化や技術革新,地域紛争の拡散の背景や影響などに関して,グローバル化する国際社会の一員として，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・ワークシート ・小テスト	・ワークシート ・討論	・発表
		5章 「歴史総合」を振り返り現代的な諸課題の形成と展望を考えよう	a ： 歴史的経緯を踏まえて現代的な諸課題を理解するとともに，設定した主題に関連する諸資料を活用している。 b ： 事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり，現代的な諸課題を展望したりするなどして，主題について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c ： よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。	・ワークシート ・小テスト	・ワークシート ・討論	・発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度